



3 伝説の岩窟 兄の顔に似て、弟の顔に似る。山に穴を開き、井戸を掘るとともに都落ちした。途中、新庄の町に3日間滞在し、その時、京都の賀茂神社の分神を奉る中野庄の賀茂神社に参拝し、その御事を祈願した。参拝後、山頂の2つの山に別れて、弟が山頂に参拝したと伝えられている。



7 戸谷古墳 6世紀頃の円墳である。八幡神社の北側の戸谷川の中流の川の小高い所にあり、石室の大きさは縦400cm、横130cm、深さ130cmで90cmの入口がある。石室の上の屋根には一辺740cmの大石が2枚がせてある。古代この地に住んでいた豪族の墓である。



1 身代わり地蔵 放光寺のお地蔵さま。その昔、夜ごと家を出て寺参りする者の行動を怪しんだ天狗が、地蔵のあまりこの地蔵の地から掘りかき取って置けるが、お地蔵さまが身代わりになって傷を負ったという伝説が残る。



2 柴田城跡 朝倉氏の統治下にあった時代、山崎氏が守った城があり、朝倉の滅亡後、柴田勝家の勢力下に入ったため、柴田城と名づけられたと言われている。この付近3箇所に古城に関する字名がある。



8 蓮池 戸谷町の東方の山麓にある池。古くから八幡神社等に供える水として、又山麓に住む住民の飲料水として大事にされてきた。この池の水の流れる下方に大きな池があり「山崩池」や水溜の花咲く池があったのでこの名称がついている。



6 紅地蔵 下層敷46番地 ●三ツ屋町公民館



4 北の地蔵 長尾町の北の端に座像の地蔵堂があり、平成11年(1999)7月お堂を新築した。お祭は、昭和の初期から80年近く続いている。毎年7月24日。



5 釈迦堂 元龜年中(1570~72)越後長尾氏の一族に高瀬寺を創建し、釈迦を安置する。いつごろか現在地に移転される。現在は石のお堂のみ。



9 戸谷の大杉 八幡神社には、杉、榎、くぬぎ、しい、いちじょう等多様な樹木が生えている。中でも樹齢400~500年といわれる大杉が2本ある。社伝によれば、新庄が戸谷城を築く時現在の日本路の地に神を移転し社地を整備した時の杉と言われている。



14 下層敷46番地 賀茂神社が、天正年間(1573~1592)兵乱のため火災にあい、社殿も消失した際、移築したのがこの地であった。社殿の建っていた下層敷46番地は、現在の消防ポンプ小屋前あたりである。



15 忠魂碑 戦争で亡くなった人を祀る碑。



10 明治小学校の跡 戸谷町公民館東部の国道417号線沿いに「明治校之跡」の石碑が建っている。この石碑は明治5年(1872)の学制により北新庄地区内に出来た三小学校の一枚である。伊、長尾、三ツ屋、吾郷尾を校区として新しい学校教育がスタートした。



12 十王堂 戸谷町の南、国道417号線と市道の交差点の近くの北側にあるお堂である。観音菩薩像とエンマ大王をはじめ十王の像が安置されている。鎌倉時代から室町時代にかけて盛んに信仰されていた。



11 清水家長屋門 福井藩の家老宅(江戸時代)の門を移築した門である。上の方に土戸があり、敵が攻めてきた時には開けて、矢を射るために使われたと言われている。



17 出村観音堂 (北町観世首堂) 弘化の頃の書類が残されている。昭和59年7月18日に修復工事が完成された。毎年7月18日に祭礼(神式)がある。



13 銭亀 (ぜんがめ) 戸谷地蔵で南端の国道沿いの山麓にある地名。大小の岩に囲まれた池があり年中きれいな水が湧き出ている。古くから地蔵や不動明王が祀られていて通行人の休憩場所となっていた。名物は、亀が住んでいたとも言い、又大きな亀のような岩があったからとも言う。



19 大井郡代謝恩碑 江戸時代に杉崎は真田領であり、岐阜県高山市におかれた高山郡代の支配地であった。天明の飢饉では杉崎でも餓死者が出るほどの災害にみまわれたが、大井郡代の善政により多くの人命が救われた。この恩に感謝するため、この石碑が作られ、高山方向に向けて建てられていたと伝えられる。碑文は「大井永昌公の御長久」となっている。



18 石仏釈迦坐像 江戸時代に岡根氏が建造した。岡根氏が明治初期に北海道に転出した以降は安下氏が継承している。かつては4月8日の釈迦誕生祭には花団子が振舞われた。



16 馬場の観音堂 (建立年は不詳。古くから安産の神として聖人は祈願をしている。毎年4月18日と7月18日に祭礼が行われる。7月には町民が、境内にて盛大な祭礼と宴が開かれる。



22 新宮地蔵堂 明治31年(1898年)の大火で消失したが、明治32年に再建された。平成8年に万葉中学校通学路新宮地内道路拡幅に敷地が掛かり、隣地に移転新築された。毎年7月24日、子供だけで地蔵祭りが行われる。



20 水造地蔵立像 又は杉崎山の山の上に祀られ、雨乞いをする。特に秋田に参拝者が多かったと伝えられる。この地蔵は水造地蔵の別名が伝えられている。平安末期の作であると考えられているが、顔の半が欠けているのが特徴。



21 杉崎神社 鬼の阿母の石像。杉崎神社は大正主君が祀られている。御境内の自らのごく当社は鬼が住んでいるため、当区では鬼が住んでいる。鬼はたいてい、この由来により社名は鬼と書かれています。鬼の阿母の石像が祀られている。



22 新宮地蔵堂 明治31年(1898年)の大火で消失したが、明治32年に再建された。平成8年に万葉中学校通学路新宮地内道路拡幅に敷地が掛かり、隣地に移転新築された。毎年7月24日、子供だけで地蔵祭りが行われる。



20 水造地蔵立像 又は杉崎山の山の上に祀られ、雨乞いをする。特に秋田に参拝者が多かったと伝えられる。この地蔵は水造地蔵の別名が伝えられている。平安末期の作であると考えられているが、顔の半が欠けているのが特徴。



21 杉崎神社 鬼の阿母の石像。杉崎神社は大正主君が祀られている。御境内の自らのごく当社は鬼が住んでいるため、当区では鬼が住んでいる。鬼はたいてい、この由来により社名は鬼と書かれています。鬼の阿母の石像が祀られている。



22 新宮地蔵堂 明治31年(1898年)の大火で消失したが、明治32年に再建された。平成8年に万葉中学校通学路新宮地内道路拡幅に敷地が掛かり、隣地に移転新築された。毎年7月24日、子供だけで地蔵祭りが行われる。



20 水造地蔵立像 又は杉崎山の山の上に祀られ、雨乞いをする。特に秋田に参拝者が多かったと伝えられる。この地蔵は水造地蔵の別名が伝えられている。平安末期の作であると考えられているが、顔の半が欠けているのが特徴。



21 杉崎神社 鬼の阿母の石像。杉崎神社は大正主君が祀られている。御境内の自らのごく当社は鬼が住んでいるため、当区では鬼が住んでいる。鬼はたいてい、この由来により社名は鬼と書かれています。鬼の阿母の石像が祀られている。



22 新宮地蔵堂 明治31年(1898年)の大火で消失したが、明治32年に再建された。平成8年に万葉中学校通学路新宮地内道路拡幅に敷地が掛かり、隣地に移転新築された。毎年7月24日、子供だけで地蔵祭りが行われる。